

# つながる鑑賞法、ひろがる輪

つながる鑑賞法は、学校で出張授業を行います。



中学生向けには、詳しい解説を用意しています。



先生と一緒に、単元目標に沿った、カリキュラム作成をしています。

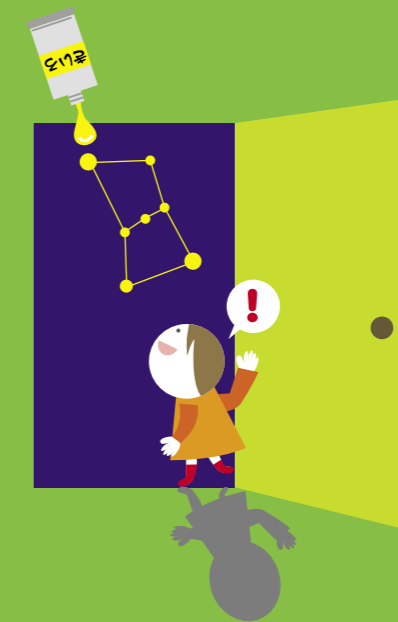


小学校中学年向け授業プログラムを用意しています。

つながるひろがる考える

新しい美術鑑賞教材

# つながる鑑賞法



## ●出張授業に関する連絡先

千葉県立美術館 普及課  
〒260-0024 千葉市中央区中央港1-10-1  
TEL 043-242-8311 FAX 043-241-7880

## ●鑑賞法に関する問い合わせ先

総合研究大学院大学 奥本素子  
okumoto\_motoko@soken.ac.jp  
TEL 046-858-1630

# つなげる鑑賞法とは？

美術鑑賞では、一つの作品をじっくり見る、というのが一般的です。しかし、美術館では、複数の作品が関連して、ストーリーを作っています。

つなげる鑑賞法では、複数の作品の共通点や多様性を知ることによって、そもそも絵のどこに注目したらいいのか、絵のパーツにはどういう意味があるのか、といった総合的視点を獲得することができます。

# 自由な発想のその先へ

じっくり見よう、見つけよう

つなげる鑑賞法では、まず作品同士の似ている点や違う点をじっくり見て、探させます。具体的な部分を発見することで、きれいやすごいという単純な感想を超えて、自分の見方を獲得していきます。

なかなか評価が難しい、展示鑑賞授業ですが、つなげる鑑賞法では授業中、生徒の考えたことを図にして可視化する、ミュージアムマップを作成させます。また、ミュージアムマップを使った生徒同士の話し合いの中で新しい見方を広げます。

可視化できない展示鑑賞中の学習とは別に、事前学習中の活動を評価に加えることによって、より適切な評価が行えます。

つなげる鑑賞法では、作品間の類似点や相違点を見出し、そこから絵の良さや作者の思いを論理的に類推していきます。正解が一つではない分、自由な発想で、様々な意見が飛び出します。鑑賞教育を通じて、生徒の論理的思考を育てていきます。

鑑賞で学ぶ  
論理的思考

デジタルな評価

# つなげる鑑賞法の学習ステップ

つなげる鑑賞法では、関連作品や注目点などを紹介する専用ウェブ教材を利用して、作品同士がつながっているんだということを事前に学びます。

作品シールを使って、作品同士の似ている点、違う点を分類していき、生徒独自の作品同士の関係図(ミュージアムマップ)を作っていきます。

つながりを知る!



つなげる!



1

2

3



ひろがる!



作成したミュージアムマップを使って、クラスの生徒同士で話し合います。自分が気が付かなかった視点に気づき、視点が広がります。

考えろ!



つなげる鑑賞法を知ると、生徒は自分で絵の良さや自分の感想を詳細な言葉で語るようになります。絵を見るだけでなく、絵から何かを考える、学習が始まります。

4